

教科（科目）	情報科学	学年（系）	2年
使用教科書	新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍） これからの数学2（数研出版）		
副教材等			

1 学習目標

情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

2 指導の重点

情報技術の面から情報社会を考えさせたり、情報社会を進展させるために社会のニーズに対応した情報技術の開発や改善が必要であることを考えさせたりするなどして、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させ、情報と情報技術に関する基礎的な知識と技能の習得を通して問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させる。

3 指導計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	ネットの危険	ネットの危険について学習します。出会い系サイトの被害の実態やフィルタリングの仕組みについて学びます。ケータイのフィルタリング、ブラックリスト方式とホワイトリスト方式の違いなどを知り、危険から身を守る手段について考えます。	2	フィルタリングについて知る。
5	安心なコミュニティを築く	安心なコミュニティを築くことについて学習します。SNSやレイティング方式のフィルタリングを知るとともに、モバイルSNSの存在や有害情報対策あんしんねっとの活用について学びます。	2	学校裏サイトについて知る。
6	不当請求	不当請求について学習します。トラブルを未然に防ぐ方法や、ワンクリック詐欺の仕組みについて学習します。架空請求や、ツークリック、スリークリック詐欺等を知り、トラブル回避について考えます。	2	ワンクリック詐欺、架空請求について知る。
7	ネットショッピング	ネットショッピングについて学習します。ネットショッピング時のクーリングオフの制度の制限や安全なウェブサイトの見分け方などを学びます。電子商取引のモデルや、ケータイの成りすましといった事柄についても学習します。	1	ネットショッピング、B to Cについて知る。
9	ネットオークション	ネットオークションについて学習します。オークション詐欺の種類やなりすまし対策、DomainKeys について学びます。被害を防止するために知っておくべきことや、モバイルオークションの存在についても学習します。	2	ネットオークション、C to Cについて知る。
10	オンライン詐欺	オンライン詐欺について学習します。フィッシング詐欺や電子証明書、モバイルバンキングについて学びます。多くの人がだまされる原因について、その理由を考えます。	2	ネットバンキング、マルチ商法について知る。
11	不正アクセス	不正アクセスについて学習します。不正なアクセス行為やアクセス制御について学びます。セキュリティホールやなりすましについて知り、トラブル回避の方法を考えます。	2	不正アクセス、ログインについて知る。
12	違法な販売行為	違法な販売行為について学習します。知的財産権を守るために知っておくべきことや、海外のサイトからの販売の	2	違法販売業者、知的財産

		危険性を学びます。会話形式による販売などのあやしいネット販売の現状を知り、対処の方法を考えます。		権について知る。
1	ネット中毒	ネット中毒について学習します。道路交通法の改正に伴う、自転車運転時の携帯電話使用の罰則や電子メールの正しい利用について学びます。電話と電子メールの特性の違いや、ローカルルールが存在について考えます。	1	テクノ依存症、テクノ不安症について知る。
2	情報の信ぴょう性	情報の信ぴょう性について学習します。情報の信ぴょう性を判断する基準や、情報の価値について考えます。テレビや新聞との違い、情報発信とその責任について学びます。	2	信頼性と信ぴょう性、利用規定について知る。
3	情報の共有と発信	情報の共有と発信について学習します。みんなでつくり上げる辞典 Wikipedia の存在や Web ページ、電子メールの付加機能について学びます。ブログ内で議論したり、ケータイでブログを更新できることを学習します。	2	Wiki、RSS について知る。

計 20 時間 (48分授業)

4 課題・提出物等

・授業の内容について記したレポートやノートを定期的に提出、学習状況の点検をします。

5 評価方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけ、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身につけ、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。	<評定> 各観点の合計点達成率 A…75%以上 B…50%以上 C…50%未満
以上の観点を踏まえ、授業への取り組み（授業態度、学習活動への参加状況）、課題への取り組みなどから総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

日常生活で起こることを学んでいきます。その立場になったらどうなるか考えて取り組んでいこう。